MAF-620D　KGV1　2016年8月1日発行

LIXIL

フリーヤード

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方、施主様にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注 意

■躯体への固定
●躯体に付けずに独立で取付けることは絶対にしないでください。
●プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから、絶対に行なわないでください。
●タッピンねじの下穴は、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。
■部材の固定
●強度保持のため、組立てねじ・ボルトは、必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まぬよう締付けてください。
■基礎について
●海砂を使用の場合は、水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
●取付け前に調査を行い、地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
●寒冷地では凍上線より下まで柱を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
●柱(屋根柱は除く)には水抜きができるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
●養生期間は十分(4日～1週間以上)にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。
●コンクリート(又はモルタル)に急結剤は絶対に使用しないでください。
●地盤の軟弱なところでは柱の埋込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
■絶縁処理について
●アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。
■シーリング処理について
●部材を外壁の上から取付ける場合、シーリング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。漏水するおそれがあります。

■取付け上のお願い

●水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
●取付けは専門業者が行ってください。
●当社指定の付属品以外は取付けないでください。
●取付け時は必ず足場を設けてください。
●波板はJIS相当製品をご使用ください。

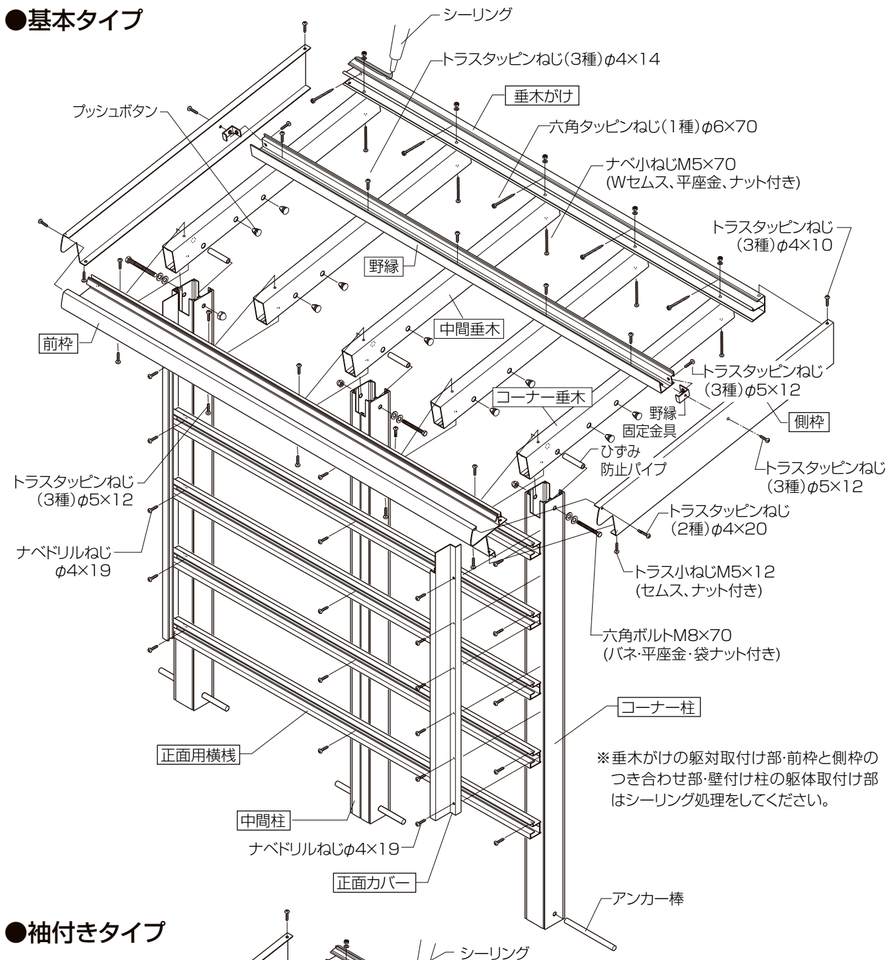
■施主様へのお願い

⚠注 意

●棚板には非常に重い物はのせないでください。長さ10cm当り3kg以下を目安にしてください。又、1点に荷重を集中させないでください。
●危険ですから、棚板の上には乗らないでください。

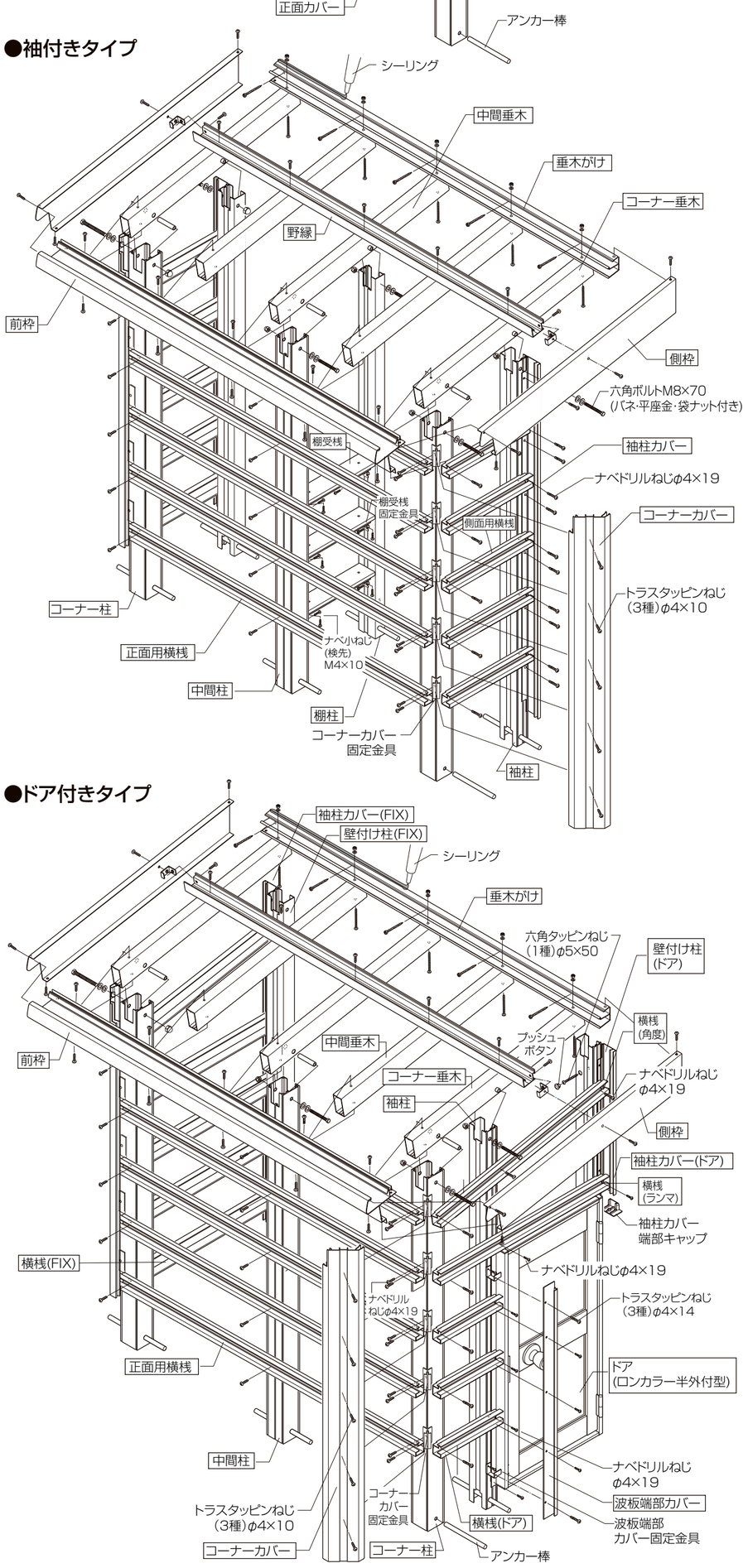
■構造説明図

●基本タイプ



※垂木がけの躯対取付け部・前枠と側枠のつき合わせ部・壁付け柱の躯体取付け部はシーリング処理をしてください。

●袖付きタイプ



●ドア付きタイプ

■取付け手順

①垂木がけの取付けと柱基礎

※垂木がけを取付ける際は、必ず水準器で水平を出してください。
・垂木がけのねじ止め位置に、柱又は間柱があることを確認し、垂木がけを取付けます。
・柱埋め込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘ります。
(図－1参照)

②コーナー柱、中間柱、コーナー垂木、中間垂木の取付け

・垂木の柱取付け穴にひずみ防止パイプを差込みます。
・柱にアンカー棒を差込みます。
・柱の切欠きに垂木を差込み、ボルトで固定します。
・垂木を垂木がけに取付けます。
※垂木の不用な穴にはプッシュボタンをしてください。
※間口1.5間×出幅4尺の場合、中間柱の取付け位置に注意してください。**(図－2参照)**
※コーナー垂木と中間垂木を間違えぬよう注意してください。
(図－2参照)

③前枠、中間垂木、野縁、側枠の取付け

・前枠をコーナー垂木に取付けます。
・前枠と垂木がけに中間垂木を取付けます。
・野縁に野縁固定金具を取付けます。
・野縁を垂木に取付けます。
・側枠を垂木がけ、野縁、前枠に取付けます。

④正面カバーの取付け

〔基本タイプ〕
・正面カバーをコーナー柱に取付けます。

⑤コーナーカバーの取付け

〔袖付きタイプ・ドア付きタイプ〕
・コーナー柱のケガキ線に合わせてコーナーカバー固定金具を取付けます。**(図－3参照)**
・コーナーカバーをコーナーカバー固定金具に取付けます。

⑥正面用横桟の取付け

・コーナー柱のケガキ線に合わせて横桟を取付けます。(図－3参照)
※間口1.5間の場合、不用の取付け穴に穴かくしシールを張付けてください。

⑦袖柱の取付け

〔袖付きタイプの場合〕
・袖柱に袖柱カバーを取付けます。
・垂木の袖柱取付け穴にひずみ防止パイプを差込みます。
・袖柱にアンカー棒を差込みます。
・袖柱を垂木に取付けます。
※袖柱カバーは袖柱の上端に合わせて固定してください。
〔ドア付きタイプの場合〕
・垂木の袖柱取付け穴にひずみ防止パイプを差込みます。
・袖柱にアンカー棒を差込みます。
・袖柱を垂木に取付けます。
※袖柱はドア取付け側に取付けてください。
(図－4参照)

⑧壁付け柱の取付け

〔ドア付きタイプ〕
・壁付け柱に袖柱カバーを取付けます。
・垂木に壁付け柱の切欠きを差込み、躯体に固定します。
※袖柱カバーは壁付け柱の上端に合わせて固定します。
※壁付け柱取付け後、取付け穴にプッシュボタンをしてください。
※H寸法切り詰めの場合、袖柱カバーは垂木側(上側)を切断してください。**(図－4参照)**
※FIX側の壁付け柱も同様の手順で取付けてください。

⑨ドアの取付け

〔ドア付きタイプ〕
・ドア本体及びドア枠を組立てます。
・ドアを袖柱及び壁付け柱に取付けます。**(図－4、5参照)**
※ドアはロンカラーガラスドア(ランマなし枠)を使用してください。

左右吊り元共通	□-0818A-DSBB

□には色コードのB、W、T、G、Kが入ります。

※ドアは必ず側面用横桟を取付ける前に施工してください。
※ドア本体、ドア枠の組立てはドアに同梱のねじを使用してください。
※ドア本体及びドア枠の組立ては、ロンカラーの組立て要領に従って組立ててください。
※ドアクローザーは取付きません。
※縦枠の不要な取付け穴には穴かくしシールを張付けてください。

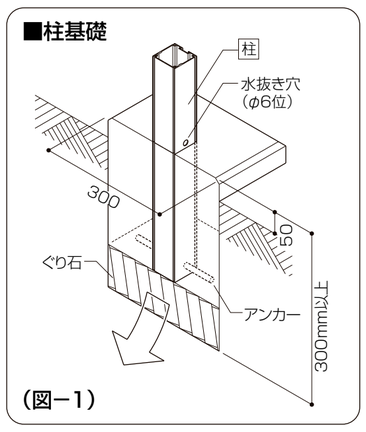
⑩側面用横桟の取付け

〔袖付きタイプの場合〕
・コーナー柱及び袖柱に正面用横桟の位置に合わせて側面用横桟を取付けます。
〔ドア付きタイプの場合〕
・コーナー柱及び袖柱に横桟(ドア)、コーナー柱及び壁付け柱に横桟(FIX)を正面用横桟の位置に合わせて取付けます。
・横桟(ランマ)のドア上枠に納まる部分のフィンを切取り、コーナー柱・袖柱及び壁付け柱に取付けます。
(図－6参照)
・横桟(角度用)を正面用横桟及び屋根こう配に合わせてコーナー柱・袖柱及び壁付け柱に取付けます。

⑪波板端部カバーの取付け

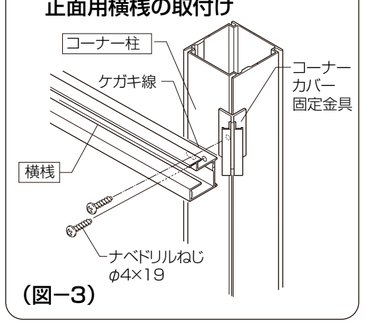
・波板端部カバー固定金具を袖柱のドア取付け部上下任意の位置に取付けます。
・波板端部カバーを横桟(ドア)及び波板端部カバー固定金具の穴位置に合わせてφ5の穴加工をします。
・波板端部カバーを横桟(ドア)及び波板端部カバー固定金具に取付けます。**(図－7参照)**
※波板端部カバーを地面に埋込まない場合は、GL面に合わせて切断してください。(図面上は100mmカット)

■柱基礎

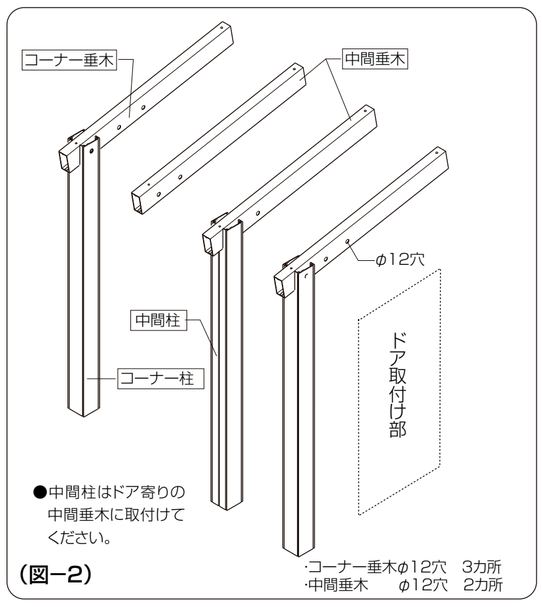


(図－1)

■コーナーカバー固定金具 正面用横桟の取付け

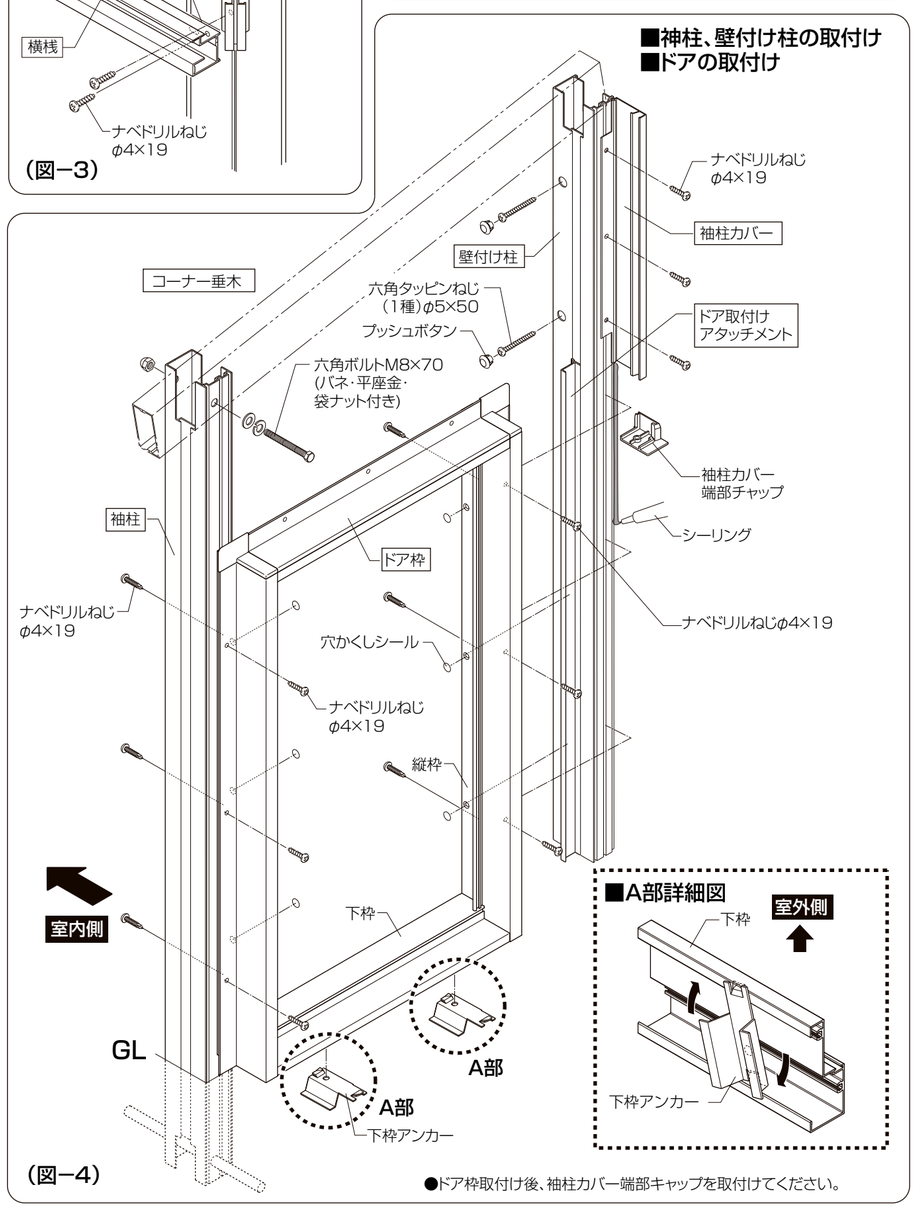


(図－3)



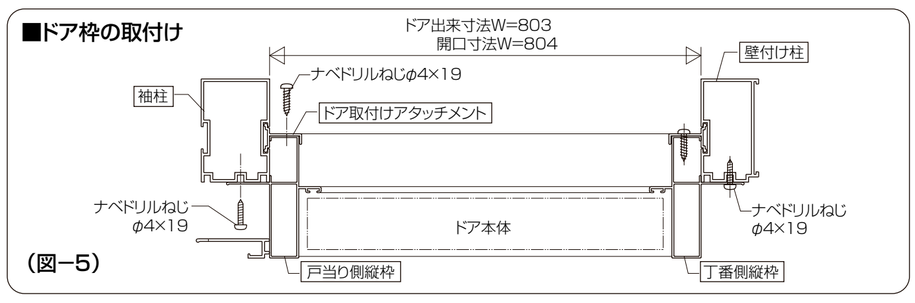
(図－2)

■神柱、壁付け柱の取付け ■ドアの取付け



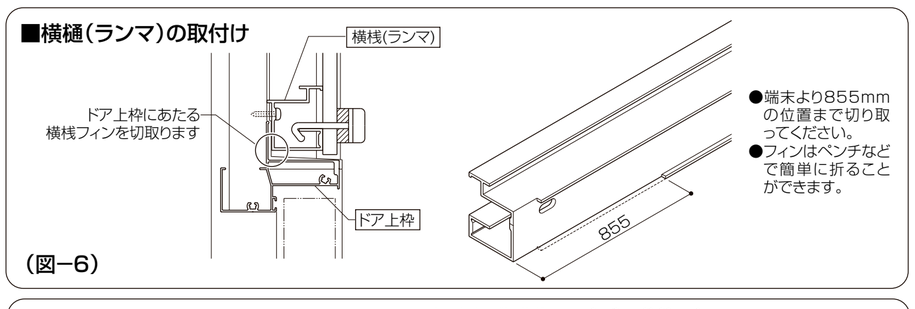
(図－4)
●ドア枠取付け後、袖柱カバー端部キャップを取付けてください。

■ドア枠の取付け



(図－5)

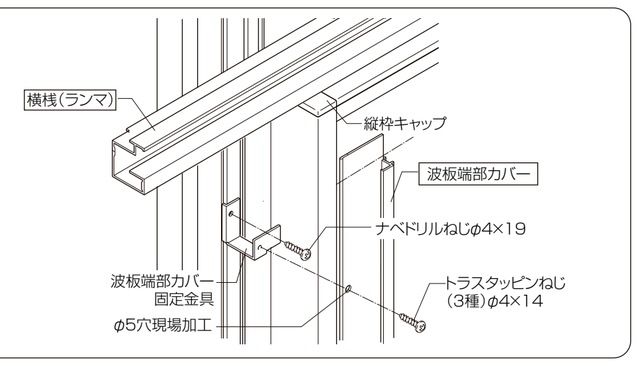
■横樋(ランマ)の取付け



(図－6)

■波板端部カバーの取付け

●波板端部カバーの切欠きをドアの縦枠キャップに合わせて取付けてください。
※内観右側にドアを取付ける場合、波板端部カバー固定金具を上下逆に取り付けてください。



(図－7)

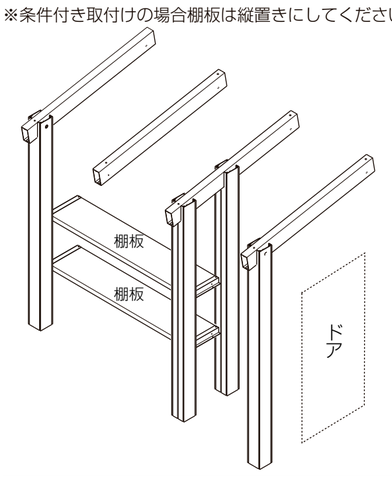
■棚板の取付け

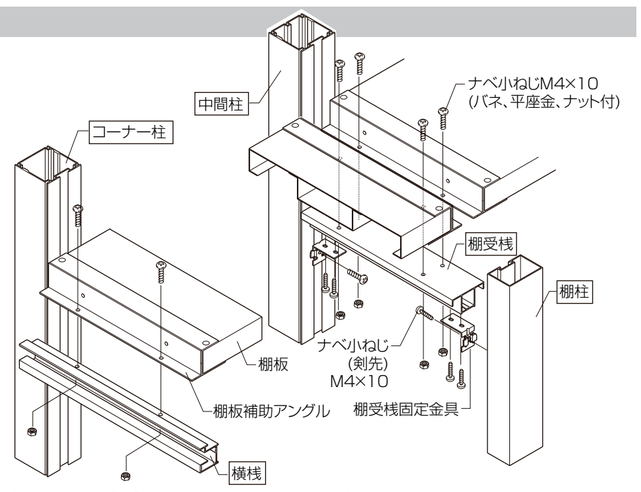
・棚柱を垂木に取付けます。
・棚受桟を横桟の位置に合わせて中間柱及び棚柱に棚受桟固定金具で固定します。
※棚受桟固定金具は90°回転させることにより柱の取付け溝に入ります。
・棚板を横桟及び棚受桟に取付けます。
※横桟及び棚受桟にφ5の棚板取付け穴をあけてください。
※ドア付きタイプに棚板を取付ける場合、制約事項がありますので、対応表を参照してください。

●ドア付きタイプ棚板取付け対応

出幅＼間口	1.0間	1.5間	2.0間
4尺	取付きません	条件付き取付け	
5尺	取付きます		
6尺			

※条件付き取付けの場合棚板は縦置きにしてください。

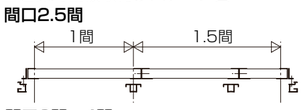




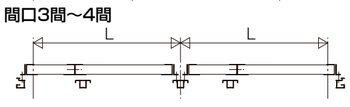
※連棟する場合、パターンを参照の上、棚板を取付けてください。

■連棟時棚板取付けパターン図

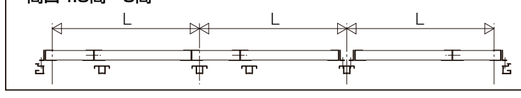
間口2.5間



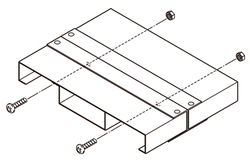
間口3間～4間



間口4.5間～5間

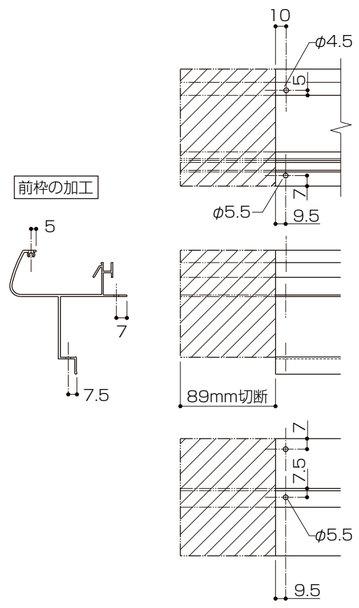


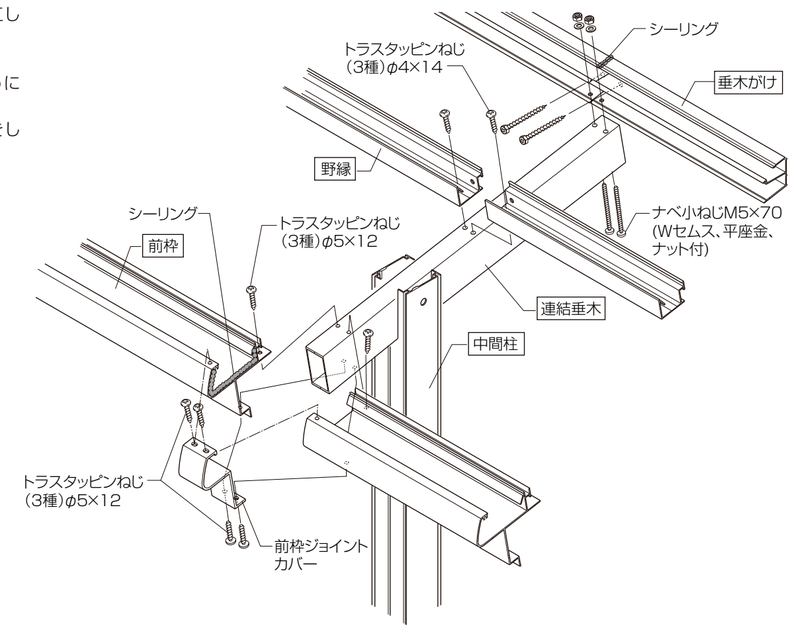
※棚板ジョイント部は棚板補助アングルを外し、棚板同士を連結してください。

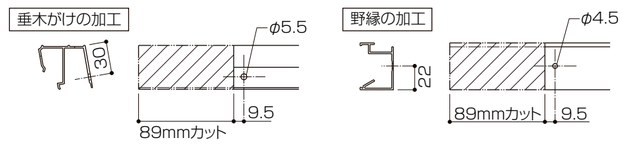


■連結タイプの取付け

・連結部の前枠、野縁、垂木がけを下図のように加工してください。
・前枠ジョイントカバーを取付けます。
※3連結の中間部については部材の両端を下図のように加工してください。
※前枠、垂木がけのジョイント部はシーリング処理をしてください。

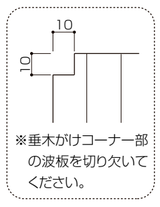


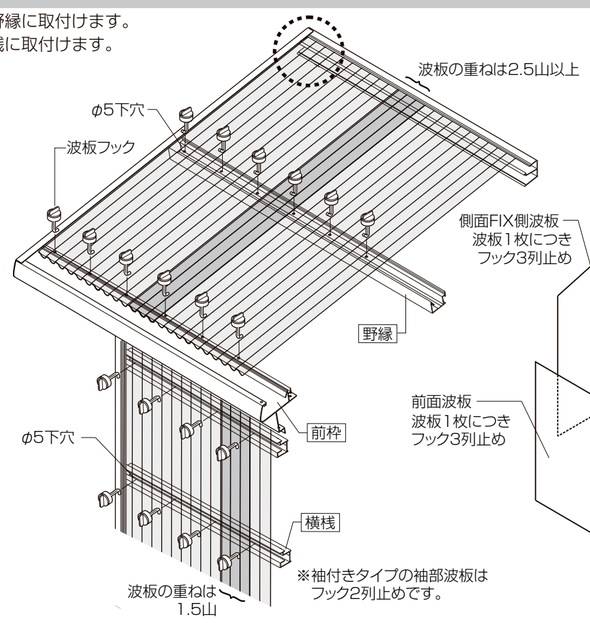




■波板の取付け

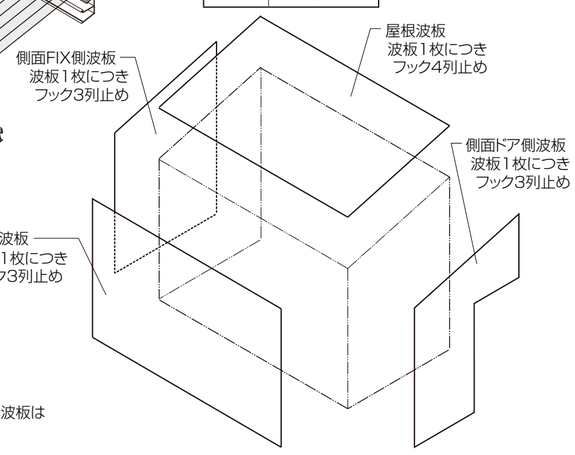
・屋根波板を前枠及び野縁に取付けます。
・全面、側面波板を横桟に取付けます。





●屋根波板寸法表

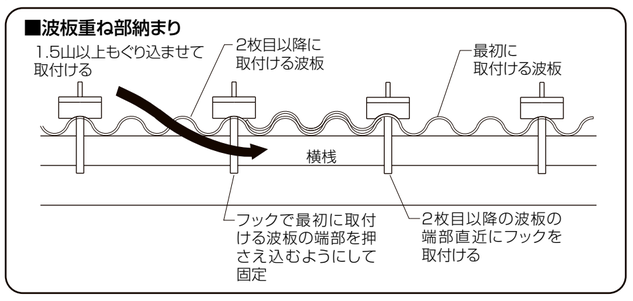
3尺	905mm
4尺	1210mm
5尺	1515mm
6尺	1820mm

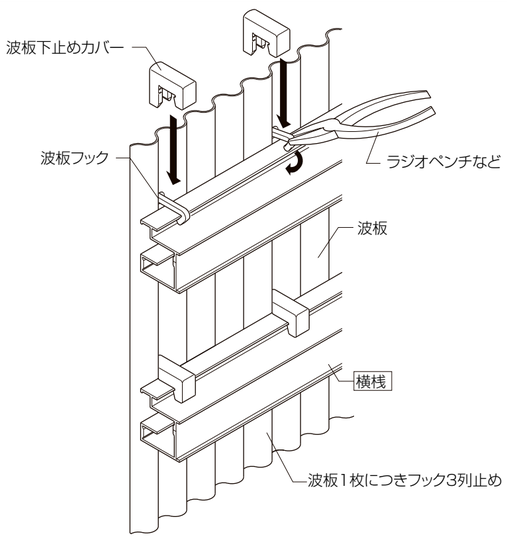


■室内側からの波板の取付け

※別途有償の波板内止め部品セットと波板フックを用意してください。(取付ける波板の枚数分)
・あらかじめ、波板に下穴φ5をあけ、波板フックを差込んでおきます。
※波板の重ね部は、波板フックの固定ができませんので重ね部直近に下穴をあけてください。(下図参照)
・差込んである波板フックをラジオペンチなどで引っ張り、横桟へ固定し、波板下止めカバーを取付けます。
・2枚目の波板は1枚目の波板の室内側へもぐり込ませて重ね合わせます。以下同じ手順で取付けます。
(下図参照)

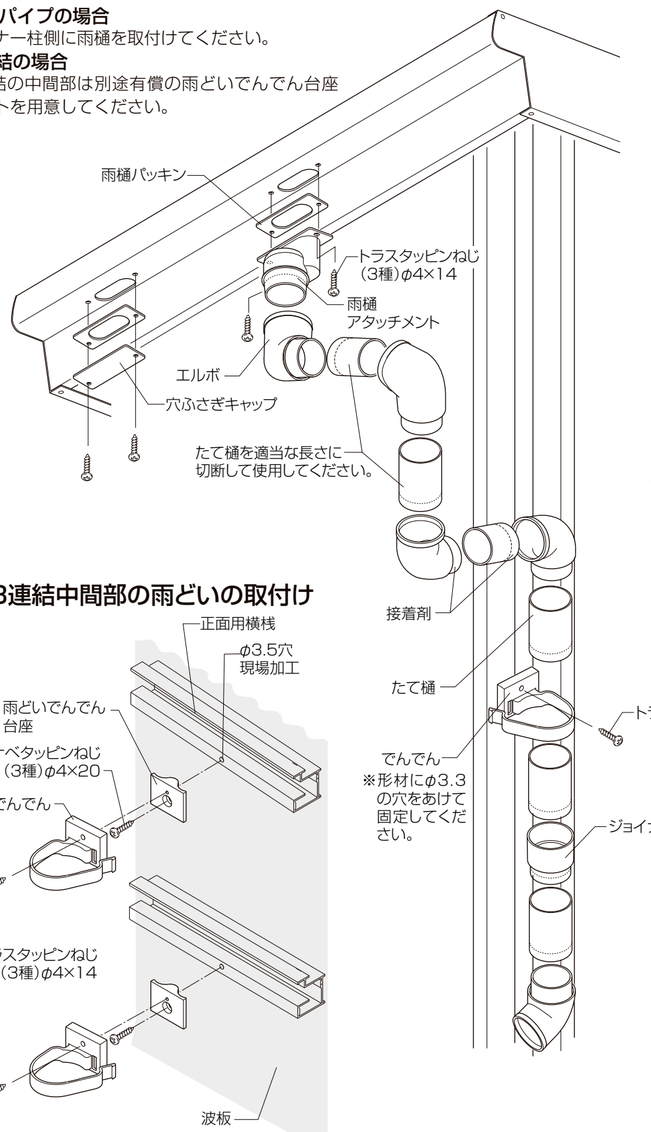
■波板重ね部納まり



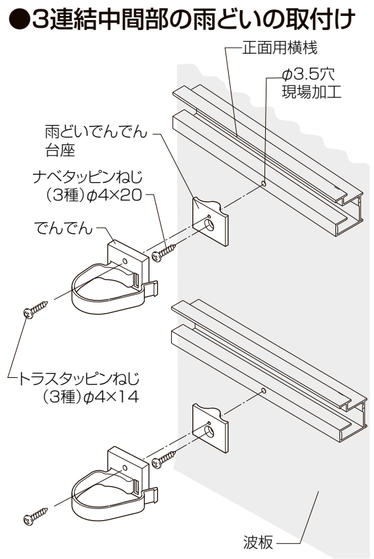


■雨樋の取付け

※基本タイプの場合
・たて樋はコーナー柱側面に取付けてください。
※連結パイプの場合
・コーナー柱側に雨樋を取付けてください。
※3連結の場合
・3連結の中間部は別途有償の雨どいでんでん台座セットを用意してください。



●3連結中間部の雨どいの取付け

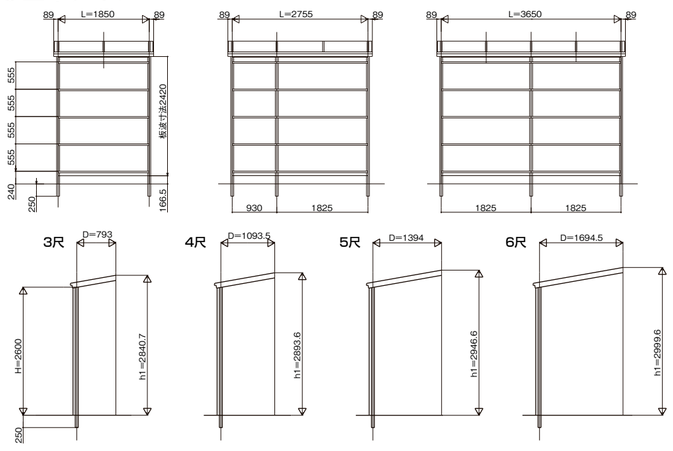


交換・修理について

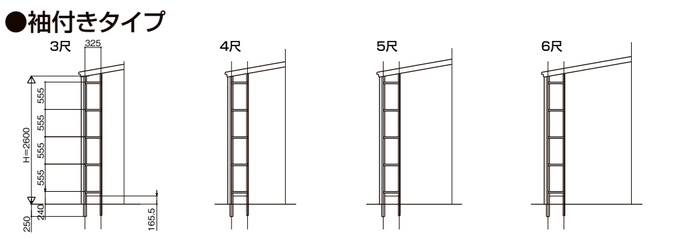
※通常の取扱いによって生じた不具合については、原則として当社の責任において交換・補修しますが、下記の場合は責任を負いかねますので十分にご注意ください。
●当社が表示した「■取付けされる方へのお願い」及び、「■施主様へのお願い」を守っていなかった場合。
●当社が表示した以上の性能を必要とする用途や個所(地域)に製品を設置した場合
●工事上の欠点があった場合
●製品に他の構成材を加えたり、又は規格外に加工して製品の形態を変えている場合
●風・雪による落下や飛来による損傷
●製品の表面に、特に塩害や大気中の砂じんやばい煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどの反応物質が付着して起こる腐食
●不可抗力(天災、地変、異常気象〔風、雪、水害など〕地盤沈下、火災、騒乱など)による場合
●製品の構成材であっても、当社の供給責任範囲以外のもの(波板など)

■納まり参考図

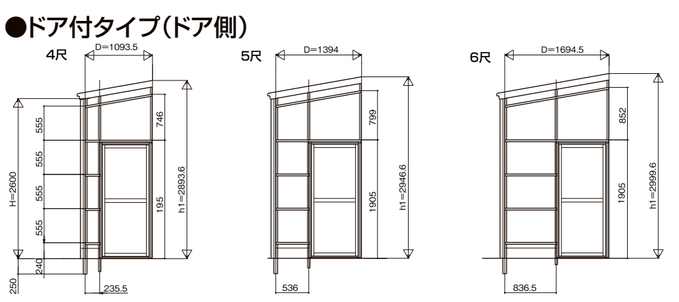
●基本タイプ



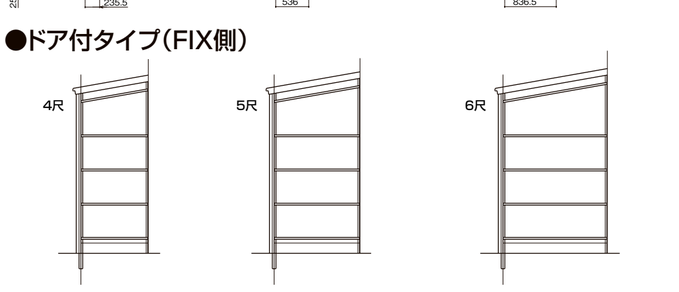
●袖付きタイプ



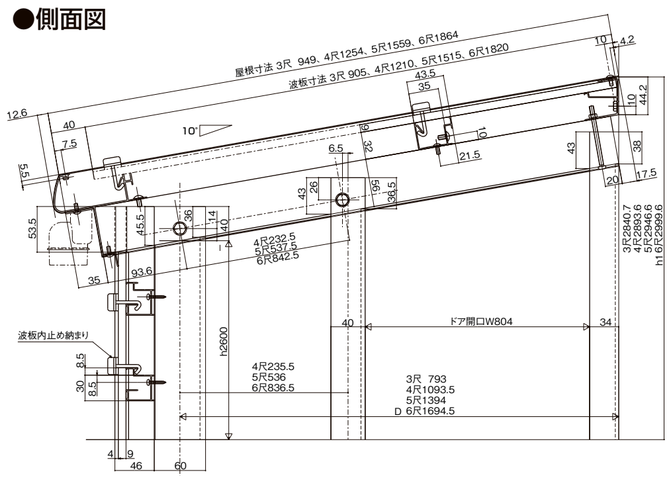
●ドア付タイプ(ドア側)



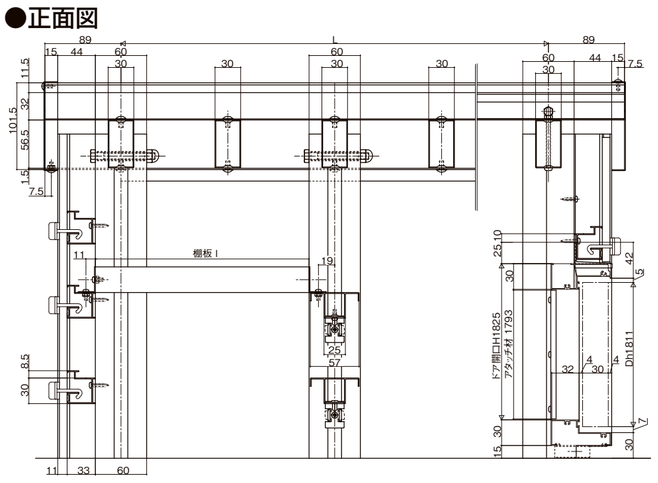
●ドア付タイプ(FIX側)



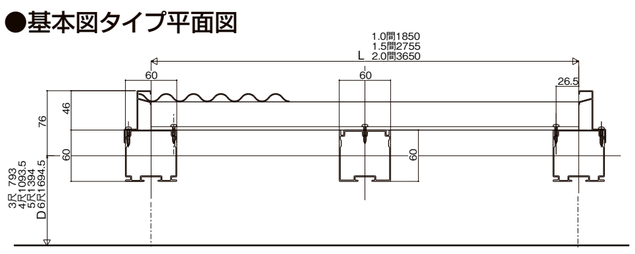
●側面図



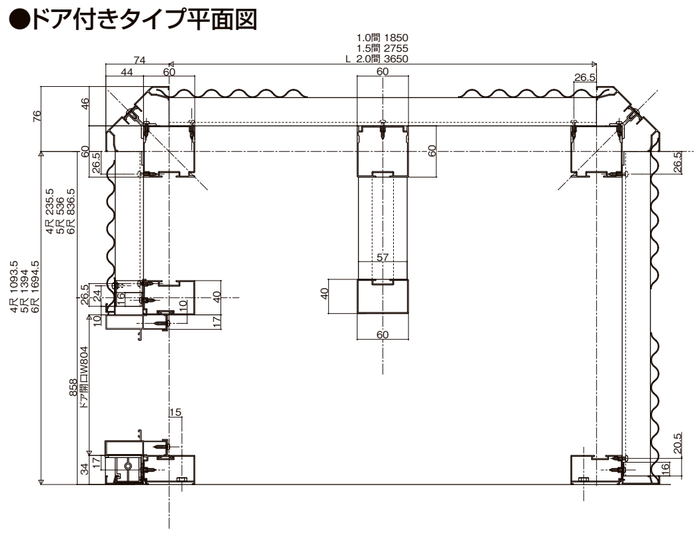
●正面図



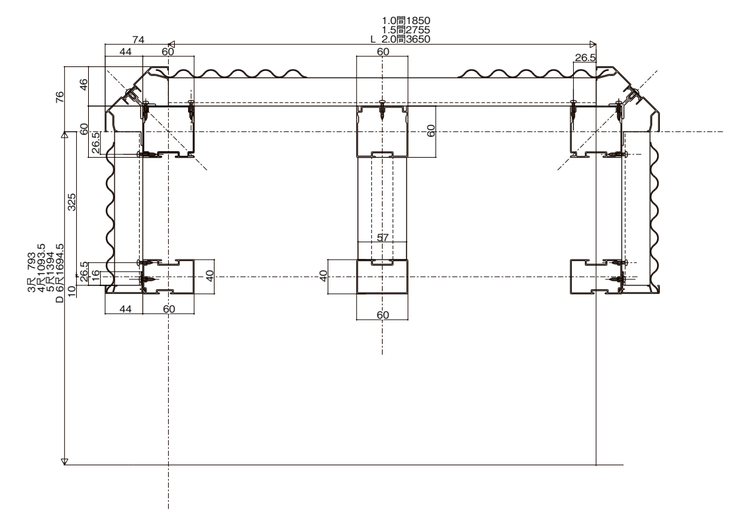
●基本図タイプ平面図



●ドア付きタイプ平面図



●袖付きタイプ平面図



●当社は、当社商品のユーザー様および流通業者様等の個人情報を商品納入に当たって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他目的のために利用いたします。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。